



花ごよみをつくってみよう

あちこちで花が見られる季節になってきました！
あなたのお気に入りの場所でどんな花が咲いているか、1年を通してノートにメモしてみませんか？ 一覧表にすれば、あなただけの「花ごよみ」ができあがります。



さとうきょうこ
佐藤 恭子

神奈川県植物誌調査会
故・浜口哲一氏（元平塚市博物館館長、元NACS-J理事）に師事

「花ごよみ」、それは四季を通じて同じ場所で観察を重ね、植物の開花状況を記録したもののことをいいます。次ページ左上の表は神奈川県のある里やまでつくった花ごよみの一例です。このような花ごよみをつけることには何か意味があるのでしょうか。

・「いつごろ」「どこに行く」と「どんな花が咲いている」かを知る指針になる（例えば桜のお花見など）

・同じ場所を根気強く見続けることで、最初は気づかなかった発見がある

・それぞれの植物の一生（生活史）を知るきっかけになる

・長く記録をとることで、地球温暖化など気候変化の影響を考える参考になる

・環境教育の方法として有効など、良いことがたくさんあるようです。何よりも植物を通して季節の移り変わりを感じるの楽しいことではありませんか？！

生きものたちの食卓を知る

では、野生の生きものにとつて「花ごよみ」とは何なのでしょう。左の表は、マルハナバチの目から見た花ごよみでもあります。ここ

に書かれている10種の植物は皆、マルハナバチが花の中にもぐり込んで蜜を集められる植物です。早春のモミジイチゴから晩秋のリンドウまで、次々と開花し続けるこの里やまはマルハナバチにとつて生活しやすい場所だということとが分かります。しかし、開発などで植物相が変わり、たとえばひと月だけでも唇に空白ができてしまったら……それは、成虫の食料はもちろん花粉と蜜で幼虫を育てるにも、巣をつくるにも花に頼って暮らしているマルハナバチには死活問題。ここで生きていくのは無理かもしれません。

故 浜口哲一さん（元NACS-J理事）は花ごよみのことを「森のメニュー」と表現されています。どんな植物がいつ花を咲かせ、いつ実が熟するのかということは、その場所が昆虫や鳥にどのような食事のメニューを提供しているかということとです。花ごよみをつくることで、どのような生きものが生息しうるのが推測できて、自然を深く理解していく手がかりになるといっていいかもしれません。身近なフィールドで花ごよみをつくって、森のメニューの発見に挑戦してみてください。

ノートの付け方（ヤツデを例に）

マークを使って開花・結実の様子をフィールドノートに記録する。



つぼみ △



咲き始め ○
咲いている花が2割以下



満開 ◎
咲いている花が2割以上



咲き終わり ●
咲いている花が2割以下



若い実のみ ×



熟した実 ※
熟した実が2割以上

マルハナバチの 花ごよみ

エクセルでつくった花ごよみの一例。
枠内は、花や実の色で塗った。



	花ごよみ											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
モミジイチゴ												
ムラサキケマン												
ヤマツツジ												
ノアザミ												
エゴノキ												
ホタルブクロ												
オオバギボウシ												
ツリガネニンジン												
ツリフネソウ												
リンドウ												



花ごよみのつくり方

- ①散歩する公園、通勤コースなど、定期的に観察できるコースを選ぶ。
- ②観察する間隔は短い方が精度は高まるが、例えば毎月中旬に1回でもよい。
- ③記録の対象はコースの中で見られるすべての植物でも、何種類か選んでもよい。
- ④つぼみ△、咲き始め○、満開◎、咲き終わり●、若い実のみ×、熟した実が2割以下#、熟した実がそれ以上※、といったマークを使って開花・結実の様子をフィールドノートに記録（右ページ下の写真参照）。
- ⑤メモから花ごよみの一覧をつくる。

さまざまな状態の個体が複数ある場合、観察した状態をすべて記入し、全体を見渡して2割以下の開花なら「ちらほら咲く（＝咲き始め○ or 咲き終わり●）」、それより多い場合は「花盛り（＝満開◎）」、果実の成熟度も同様に、熟した実が2割以下なら「ちらほら熟す#」、それより多く熟していれば「実盛り※」とみなし、該当するマークの下に下線を引いて表に反映。花の状態の判断で迷うことは多いが、自分の基準をしっかりとって、その基準ですべて判断する。

	3月	4月	5月	6月
モミジイチゴ	△○◎	◎●×#	#※	※#

	3月	4月	5月	6月
モミジイチゴ	ちらほら咲く	花盛り		
		ちらほら熟す	“実盛り”	

今回は花と実を両方記載したが、花だけのこよみでもよいし、花と実を実線と点線で使い分けたり、花や実の絵を描いたり、工夫次第で楽しいオリジナルの花ごよみをつくることができる。

Q クイズ 花からどんな実になるか想像してみよう！

花と実を線で結んでみよう。
答えは43ページをご覧ください。



自然を守って60年 日本自然保護協会 (NACS-J) 会員募集中！

NACS-Jについてのお問い合わせは TEL：03-3553-4101 Eメール：nature@nacsj.or.jp
このページは、筆者の方に教育用のコピー配布をご了解いただいております（商用利用不可）。カラーページは、NACS-Jウェブサイト
の<http://www.nacsj.or.jp/katsudo/kansatsu/>からPDFファイルがダウンロードできます。自然観察会などでご活用ください。